

△注意 モデル表面に印刷物などが直接触れないよう
にしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW33

超低出生体重児モデル



目 次

- はじめに
製品の特長とご使用上の注意 P.1
- ご使用の前に
セット内容 P.2
- 実習 P.3~P.4
- 後片付け P.5



株式
会社 京都科学

はじめに

このたびは、当社の「超低出生体重児モデル」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、超低出生体重児の基本的ケアと蘇生法をレーニングできるモデルです。
実習教材としてご使用ください。

特 長

- 26～28週齢で体重約900gの超低出生体重児を想定したモデルです。
- マスク換気、胸骨圧迫、気管挿管(片肺・両肺換気、食道挿管の確認)が可能です。
- 気管支、食道、胃を備え 経管栄養、吸引、導尿などの基本的処置も実習できます。
- 頸部は可動式で、首のすわり具合を再現しています。

実習項目

- ・保育器内での体位変換・保持、清拭
- ・大泉門の触知
- ・全身の観察及び計測
- ・経管栄養チューブの挿入手順
- ・吸引チューブの挿入手順(口腔、鼻腔)
- ・導尿カテーテルの挿入手順
- ・バッグバルブマスクでの換気
- ・胸骨圧迫
- ・気管挿管
- ・経鼻陽圧気道換気法

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。

また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、
当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

セット内容

ご使用の前に、構成品が全てそろっているかご確認ください。



- a 超低出生体重児モデル 1点
- b トレーニングモデル用潤滑剤 1点
- 取扱説明書

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

軟質樹脂を使用していますので、落下や圧迫を加えると、変形や破損の原因となります。

● モデルの汚れは水又は中性洗剤で拭き取ってください。

汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

1 体位変換・保持、清拭、全身の観察・計測

保育器内の体位変換・保持、清拭、全身の観察・計測をトレーニングできます。



2 経管栄養、吸引、導尿

- 経管栄養の実習では、チューブの挿入、固定までの手順をトレーニングできます。
- 吸引の実習では、口腔・鼻腔よりのチューブの挿入手順をトレーニングできます。
- 導尿の実習では、カテーテル挿入手順をトレーニングできます。

※実習前に、チューブやカテーテルに附属の潤滑剤を3~4回程度吹き付けてください。
※経管栄養実習ではカテーテルの挿入のみで、聴診器による胃への到達確認はできません。
※導尿実習ではカテーテルの挿入のみで、排尿はできません。



.....
経管栄養チューブは3Fr、吸引カテーテルは3Fr、導尿カテーテルは6Frを使用してください。
経管栄養実習では栄養剤等は入れないでください。
吸引実習では口や鼻に模擬痰等を入れないでください。

実習

気管挿管、バッグバルブマスクでの換気 胸骨圧迫

5 気管挿管、バッグバルブマスクでの換気

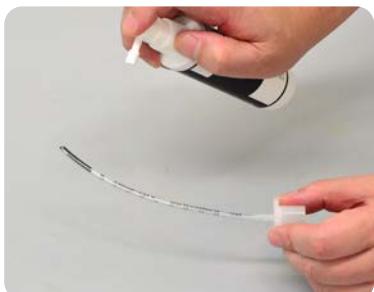
気管挿管、バッグバルブマスクでの換気の手順がトレーニングできます。

片肺・両肺挿管、食道挿管は胸腹部の上下で確認できます。



注意 気管チューブは2.0~2.5mmID、喉頭鏡はブレードサイズ #00、バッグバルブマスクは新生児用(小)を使用してください。

挿管準備：実習前に口腔内や気管チューブに附属のトレーニングモデル用潤滑剤を3~4回程度吹き付けてください。



6 胸骨圧迫

適切な胸骨圧迫をトレーニングできます。



後片付け

後片付け
マスクの交換

1 後片付け

実習後は、モデルの表面や気管チューブに塗布した潤滑剤を拭き取って保管してください。

誤って口腔内等に潤滑剤を大量に使用した場合には、綿棒等を使用して丁寧に拭き取ってください。



大量に潤滑剤を使用し放置されると、潤滑剤が内部で乾燥・凝固する可能性があります。

2 マスクの交換

1. マスクを取り外す場合は、マスクの後頭部側を持ち上げながら前方方向にマスクをはずします。最後に首の部分を抜き取ります。



2. マスクの取り付けは、先にマスクを顎側に合わせ、後頭部側に被せていくます。後頭部では頭部の段差にマスクを合わせます。最後に首の部分を胴体の中に差し込みます。



⚠ 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品

コード番号	部品名
11413-010	マスク
11229-050	トレーニングモデル用潤滑剤



マスク



トレーニングモデル用潤滑剤

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



URL● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL : 075-605-2510 (直通)
FAX : 075-605-2519

■ 東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL : 03-3817-8071 (直通)
FAX : 03-3817-8075

2018.04